

# 石材を拾って石器づくり

## ① 一子沢遺跡 (村田町小泉)



村田町東部を流れる新川に面した河岸段丘上にある後期旧石器時代 (約 38,000 ~ 16,000 年前) の遺跡です。

令和 6 年度に、東北大学考古学研究室により初めて学術調査が行われました。

その結果、遺跡近くに産出地がある玉髓という石材で作られた石器など 453 点が出土しました。

県内で後期旧石器時代の遺跡が調査された事例は少なく、接合する石器があることから遺跡内で石器が作られていたことがわかり、貴重な成果となりました。



① 狩りなどの道具



② 動物の毛皮を加工する道具



③ 石刃

0 5cm



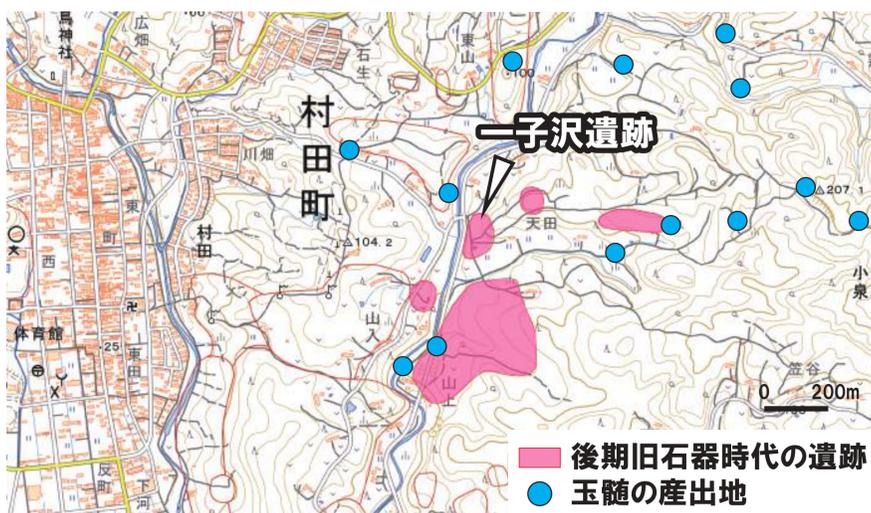
④ 石刃を打ち割った残り



③が出土した様子

### ▲一子沢遺跡出土の石器

①は狩りなどの道具で、先端がとがった形をしています。②は動物の毛皮を加工する道具で、先端が弧状に加工されています。③は鋭い縁のある石器（石刃）で、切る道具や他の道具の素材として利用されました。④は石刃を打ち割った残りです。



▲一子沢遺跡周辺地図 (地理院地図に加筆)

村田町には石器の石材となる玉髓の産出地が多くあり、近くには後期旧石器時代の遺跡が集中しています。

割られた面



0 5cm

▲接合した石器

割られた面で接合する石器が出土しました。こぶし大ほどの石材を打ち割った様子がわかります。

## Rengemon Chat



ちょうさいんさん

旧石器時代の石器はどんなことに使われていたの？

旧石器時代は現在よりも寒冷的な気候で、人々は狩りや植物の採集をしながら移動生活を送っていたと考えられています。旧石器時代の石器には、狩りや動物の解体、動物の皮や骨・角、木などを加工することに使われたものがあることがわかっています。



れんげもんちゃん

協力：東北大学大学院文学研究科考古学研究室